

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

- (1) 競技は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本競技会申し合わせ事項によって行う。
- (2) スタートにおける不適切行為に関しては、§162-5を適用せず注意にとどめる。

2 練習について

練習は、主競技場・補助競技場の指定された場所（時間帯による）を使用する。
ただし、投てき練習は、招集完了後役員の指示により行う。

3 招集について

- (1) 招集所は、主競技場・補助競技場ともに雨天練習場に設ける。
- (2) 種目別の招集開始時刻、完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 招集の手順
 - ①招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイクピンなどの確認を受ける。
 - ②点呼の代理は認めない。ただし、2種目にわたって同時刻に出場する競技者は、9時までに本人が競技者係へ2種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイクピンなどの確認）を受けておくこと。
 - ③招集完了時刻に遅れた競技者は出場を認めない。
- (4) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出する。

4 競技について

- (1)トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
- (2)**5000m、3000mは補助競技場で実施する。**
- (3)5000m、3000mは別ナンバーカードを使用する。競技終了後、フィニッシュ地点で係に返却する。
- (4)レーンを使用するトラック競技の腰ナンバーは各校で用意し、右側につける。
- (5)スパイクシューズのピンの長さは、9mm以内、本数は11本以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。

5 競技用具について

- (1)やり以外の競技用具は、主催者が用意したものをを使用すること。
- (2)やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。その際の検査場所および検査時刻は下記のとおりとする。
検査場所・・・西側（フィニッシュ側）用器具庫
検査時刻・・・女子1組：8:20～8:30 女子2組：10:20～10:30
男子1組：12:20～12:30 男子2組：14:20～14:30

6 走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

走 高 跳	男1組	1.55(練)	1m60-65-70-75-80-85 以後3cmずつあげる
	男2組	1.30(練)	1m35-40-45-50-55-60-65-70-75-80-85 以後3cmずつあげる
	女1組	1.25(練)	1m30-35-40-45-50 以後3cmずつあげる
	女2組	1.05(練)	1m10-15-20-25-30-35-40-45-50 以後3cmずつあげる

注) 天候その他で変更する場合がある。

7 その他

- (1)すべてのスタンドの使用を認める。ただし、バックスタンドのトイレの使用は禁止する。
- (2)スタンド、更衣室等は常に清潔保持につとめ、ゴミは分別してバケツに捨てる。
- (3)競技中の連呼応援は自粛すること。
- (4)サブトラックの芝生内への立ち入りは禁止する。